



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社Fast Fitness Japan 上場取引所 東  
 コード番号 7092 URL <https://fastfitnessjapan.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 敦之  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高嶋 淳 (TEL) 03-6279-0861  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月8日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	14,787	12.9	3,364	14.2	3,402	15.6	1,914	12.5
2022年3月期	13,097	17.3	2,945	28.4	2,943	30.5	1,702	84.9

(注) 包括利益 2023年3月期 1,914百万円( 12.5%) 2022年3月期 1,702百万円( 84.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	102.37	101.02	18.3	16.0	22.8
2022年3月期	91.05	89.83	19.1	13.8	22.5

- (注) 1. 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。  
 2. 「収益認識基準に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しておりますが、売上高及び利益に影響ありません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	21,195	11,221	52.9	599.90
2022年3月期	21,429	9,662	45.1	516.92

(参考) 自己資本 2023年3月期 11,221百万円 2022年3月期 9,662百万円

- (注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	2,982	△743	△2,012	9,683
2022年3月期	3,346	△1,467	△1,755	9,457

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	2.00	—	10.00	12.00	218	13.2	2.5
2023年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00	373	24.4	4.5
2024年3月期(予想)	—	10.00	—	15.00	25.00		33.4	

- (注) 当社は2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	15,200	2.8	2,800	△16.8	2,700	△20.6	1,400	△26.9	74.86

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	18,719,980株	2022年3月期	18,692,619株
② 期末自己株式数	2023年3月期	14,394株	2022年3月期	12,561株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	18,700,801株	2022年3月期	18,694,408株

(注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実績の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、決算短信（添付資料）4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、『ヘルシアプレイスをすべての人々へ!』を企業理念として掲げ、24時間フィットネスジムの日本におけるパイオニアであるエニタイムフィットネスの運営を通じて「誰もが健康的に暮らせる、心豊かな社会」を実現することを目指し、店舗網の拡張や会員数の増強等、積極的な事業拡大を推進しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され、緩やかに持ち直しているものの、世界的な物価高騰が進むなど不透明な状況は継続しております。

当社グループが属するフィットネスジム業界におきましては、異業種からの参入による低価格帯ジムの出店など24時間型フィットネスジムは引き続き増加傾向にあります。当社グループが運営するエニタイムフィットネスは、1,000店舗を超える出店で培ったノウハウを活かした店舗開発と、「安全」「安心」「清潔」「快適」な店舗運営により、24時間型フィットネスジム業界においてトップシェアを維持し続けております。

また、当社グループでは、当期においてより良いジムへと成長するためのメッセージとして「Update YOURSELF さあ、自分をアップデートしよう。」を発信し、会員の皆様とともにアップデートし変化することを目指してまいりました。

このような経営環境の中、当社グループは、2022年3月の1,000店舗を達成後も新規出店を続け、また効果的なキャンペーンの実施や会員満足度の向上への取り組みを強化した結果、通期を通して店舗当たり会員数が堅調に推移したこと等により、2023年3月末時点の店舗数及び会員数は以下のとおりとなりました。

## 1. エニタイムフィットネス店舗数

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当連結会計年度		当連結会計年度末 (2023年3月31日)
		出店数	退店数	
店舗数合計	1,002	72	7	※1 1,068
内、直営店舗数	165	5	1	※1, 2 171
FC店舗数	837	67	6	※2 897

※1. 2023年3月31日付で退店した店舗1店舗を含んでおります。

※2. FCから直営店舗への承継した1店舗を含んでおります。

## 2. エニタイムフィットネス会員数

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当連結会計年度 第2四半期末 (2022年9月30日)	当連結会計年度末 (2023年3月31日)	増減率 (前年同期比)
会員数合計	64.5万人	71.5万人	74.0万人	14.7%
内、直営店会員数	9.9万人	10.9万人	11.1万人	11.9%
FC店会員数	54.6万人	60.6万人	62.8万人	15.2%

以上の結果、当連結会計年度の売上高は14,787百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は3,364百万円（同14.2%増）、経常利益は3,402百万円（同15.6%増）となりました。

また、第4四半期におきまして、新型コロナウイルスの影響等により業績改善までの期間の長期化が見込まれる18店舗に関する減損損失367百万円を計上したこと等により、特別損失458百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は1,914百万円（同12.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度末に比べ233百万円減少し、21,195百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したこと等により流動資産が622百万円増加したこと、並びに、長期前払費用が減少したこと等により固定資産が856百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,792百万円減少し、9,974百万円となりました。これは主に、未払金が143百万円減少したこと、並びに、借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が1,635百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,558百万円増加し、11,221百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益1,914百万円を計上したことによるものです。この結果、自己資本比率52.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、9,683百万円となり、前連結会計年度末に比べて226百万円増加しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は2,982百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が2,955百万円、減価償却費が991百万円あったのに対し、法人税等の支払額946百万円及び棚卸資産の増加137百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は743百万円となりました。これは主に、直営店の出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が675百万円、事業譲受による支出が66百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は2,012百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が1,635百万円、配当金の支払額が373百万円あったことによるものです。

#### (4) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しにつきましては、世界的に続く物価高騰等により、個人消費意欲は引き続き不透明な状況が強まっております。

当社グループを取り巻く事業環境においては、2023年3月より政府の方針が緩和されマスク着用のルールが個人の判断となり、新型コロナウイルス感染症への不安による利用自粛は一部において継続すると見込んでいるものの社会経済活動の正常化が進むと見られ、運動機会への需要は高まっていくと見込んでおります。

このような経営環境の中、当社グループは、企業理念「ヘルシアプレイスをすべての人々へ！」の実現のため、2023年4月より新メッセージ「Give me five ～あなたとハイタッチ～」を発信しております。このメッセージには、不安定な時代こそ大切な人との繋がりに着目し、頑張った人同士や応援する人とハイタッチを交わし、誰かのために、自分のために、挑戦した、想いを遂げた、助けた、などエンタインフィットネスに関わるすべての人々のポジティブなアクションを応援したいという想いを込めております。さらに当社グループは運動機会の需要を捉え、会員様の利便性向上に向けた出店と実効性の高いキャンペーンの実施やSNSの活用等を通じたコミュニケーションを推進し、事業の拡大を図ってまいります。

以上のような状況を踏まえ、2024年3月期の連結業績見通しにつきましては、当年度（2023年3月期）のグローバル会員管理システムの移行にかかるシステム使用料の増加による反動減があり、会費収入やロイヤリティ収入を中心とした売上高は増加するものの、利益面では、これによる売上総利益の減少に加え、人件費や基盤インフラの整備などの販管費の増加を見込み、売上高15,200百万円（当連結会計年度比2.8%増）、営業利益2,800百万円（同16.8%減）、経常利益2,700百万円（同20.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1,400百万円（26.9%減）としております。

（上記の見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。）

当社グループは、企業理念である「ヘルシアプレイスをすべての人々へ！」の実現に向け、ESG経営を推進するための3つのマテリアリティ（重要課題）として、1）「日本の健康を創る先進企業へ」、2）「地域の健康・安全を担うインフラへ」、3）「ヘルシアプレイスの礎」に取り組み、店舗を創るだけでなく、日本のフィットネス参加率を上げることで、フィットネスが日常的でスタンダードなカルチャーとなるよう推進してまいります。加えて、エンタインフィットネスがさらに社会に開かれたフィットネスクラブとなるため、社会的価値と経済的価値の創出及び持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでまいります。

また、これらの取り組みには従業員が心身共に健康であることが重要であると考え、健康保持・増進に向けた様々な取り組みを実施し、2023年3月に経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」の認定を受けました。ステークホルダーであるエンタインフィットネスの会員様とFCオーナー様、そして従業員等の誰もが健康的に暮らせる、心豊かな社会の実現を目指してまいります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、さらなる財務体質の強化や事業拡大及び競争力の確保を経営の重要課題として位置づけております。配当に関する基本方針として、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、内部留保の充実を図り、事業拡大と事業の効率化のための投資に充当し、持続的に成長することで企業価値を高めていくことが株主に対する最大の利益還元につながると考えております。以上の基本方針に基づき、当期末の配当金につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。これにより、中間配当金と合わせ、1株当たりの年間配当金は25円となります。次期の配当につきましては、上記方針を基に継続的な利益還元を目指し、1株あたり年間25円（中間配当10円、期末配当15円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準により作成する連結財務諸表が当社グループの経営成績、財政状態およびキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断しており、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際会計基準）の適用につきましては、国内他社の採用動向を踏まえつつ、適切に対応を検討していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,457	9,683
売掛金	1,217	1,118
商品	145	283
前払費用	342	355
その他	109	475
貸倒引当金	-	△22
流動資産合計	11,272	11,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,422	7,437
工具、器具及び備品	3,769	3,857
減価償却累計額	△4,167	△5,072
土地	0	0
建設仮勘定	2	1
有形固定資産合計	7,028	6,226
無形固定資産		
のれん	92	98
ソフトウェア	75	38
その他	5	4
無形固定資産合計	173	141
投資その他の資産		
投資有価証券	1	2
長期前払費用	595	558
敷金及び保証金	1,305	1,325
繰延税金資産	687	701
長期貸付金	251	248
その他	113	97
投資その他の資産合計	2,955	2,933
固定資産合計	10,157	9,300
資産合計	21,429	21,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	126	52
1年内返済予定の長期借入金	1,635	1,569
未払金	936	792
未払法人税等	545	637
契約負債	1,923	1,895
賞与引当金	145	208
役員賞与引当金	26	16
その他	337	272
流動負債合計	5,677	5,445
固定負債		
長期借入金	4,808	3,239
資産除去債務	1,045	1,091
その他	235	198
固定負債合計	6,089	4,528
負債合計	11,766	9,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,173	2,183
資本剰余金	2,112	2,123
利益剰余金	5,420	6,960
自己株式	△44	△46
株主資本合計	9,662	11,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	9,662	11,221
負債純資産合計	21,429	21,195



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	13,097	14,787
売上原価	7,587	8,410
売上総利益	5,509	6,376
販売費及び一般管理費	2,564	3,012
営業利益	2,945	3,364
営業外収益		
受取配当金	0	0
受取手数料	30	43
受取保険金	33	17
違約金収入	8	36
その他	2	2
営業外収益合計	75	99
営業外費用		
支払利息	41	33
為替差損	9	23
株式交付費	0	0
支払手数料	24	3
その他	0	0
営業外費用合計	77	60
経常利益	2,943	3,402
特別利益		
固定資産売却益	0	-
預り保証金返還免除益	-	12
特別利益合計	0	12
特別損失		
解約違約金	1	-
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	14	18
減損損失	237	439
特別損失合計	253	458
税金等調整前当期純利益	2,690	2,955
法人税、住民税及び事業税	927	1,039
法人税等調整額	60	2
法人税等合計	988	1,041
当期純利益	1,702	1,914
親会社株主に帰属する当期純利益	1,702	1,914

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,702	1,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
包括利益	1,702	1,914
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,702	1,914

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,160	2,099	3,869	-	8,128
当期変動額					
新株の発行(譲渡制限付株式の発行)	13	13			26
剰余金の配当			△151		△151
親会社株主に帰属する当期純利益			1,702		1,702
自己株式の取得				△44	△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	13	13	1,551	△44	1,533
当期末残高	2,173	2,112	5,420	△44	9,662

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△0	△0	8,128
当期変動額			
新株の発行(譲渡制限付株式の発行)			26
剰余金の配当			△151
親会社株主に帰属する当期純利益			1,702
自己株式の取得			△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0	0	0
当期変動額合計	0	0	1,533
当期末残高	0	0	9,662

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,173	2,112	5,420	△44	9,662
当期変動額					
新株の発行(譲渡制限付株式の発行)	10	10			20
剰余金の配当			△373		△373
親会社株主に帰属する当期純利益			1,914		1,914
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	10	10	1,540	△2	1,558
当期末残高	2,183	2,123	6,960	△46	11,220

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	0	0	9,662
当期変動額			
新株の発行(譲渡制限付株式の発行)			20
剰余金の配当			△373
親会社株主に帰属する当期純利益			1,914
自己株式の取得			△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0	0	0
当期変動額合計	0	0	1,558
当期末残高	0	0	11,221

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,690	2,955
減価償却費	1,041	991
減損損失	237	439
のれん償却額	24	25
株式報酬費用	19	21
預り保証金返還免除益	-	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12	62
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△10
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△201	-
受取利息及び受取配当金	△1	△1
受取保険金	△25	△7
支払利息	41	33
固定資産売却損益 (△は益)	0	-
固定資産除却損益 (△は益)	14	18
解約違約金	1	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△58	99
棚卸資産の増減額 (△は増加)	20	△137
仕入債務の増減額 (△は減少)	△46	△73
前払費用の増減額 (△は増加)	△18	△10
長期前払費用の増減額 (△は増加)	12	36
契約負債の増減額 (△は減少)	△1	△27
未払金の増減額 (△は減少)	195	2
長期未払金の増減額 (△は減少)	175	△27
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	60	△366
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	6	△73
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	0	0
小計	4,200	3,963
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△41	△34
法人税等の支払額	△962	△946
法人税等の還付額	150	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,346	2,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,369	△675
無形固定資産の取得による支出	△5	△0
固定資産の除売却による収支 (△は支出)	△7	△15
資産除去債務の履行による支出	△31	-
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△121	△34
敷金及び保証金の回収による収入	31	18
保険積立金の解約による収入	60	23
事業譲受による支出	-	△66
その他	△22	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,467	△743
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	6,634	-
長期借入金の返済による支出	△8,194	△1,635
配当金の支払額	△150	△373
自己株式の取得による支出	△44	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,755	△2,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	123	226
現金及び現金同等物の期首残高	9,333	9,457
現金及び現金同等物の期末残高	9,457	9,683

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年7月22日開催の取締役会決議により、2022年8月19日を払込期日とした譲渡制限付株式報酬制度としての新株式の発行を行いました。この結果、当連結会計年度において資本金が10百万円、資本準備金が10百万円増加し、当連結会計年度末において資本金が2,183百万円、資本準備金が2,123百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは「エニタイムフィットネス」の単一ブランドで、国内においてフィットネスクラブの店舗展開をしており、事業区分は「フィットネスクラブ運営事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	店舗売上	F C売上	その他営業の 収入	合計
外部顧客への売上高	7,328	5,177	591	13,097

## 2. 地域ごとの情報

本邦以外の外部顧客への売上高及び本邦以外に所有している有形固定資産もないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	店舗売上	F C売上	その他営業の 収入	合計
外部顧客への売上高	8,583	5,651	552	14,787

## 2. 地域ごとの情報

本邦以外の外部顧客への売上高及び本邦以外に所有している有形固定資産もないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは、「フィットネスクラブ運営事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループは、「フィットネスクラブ運営事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	516.92円	599.90円
1株当たり当期純利益金額	91.05円	102.37円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	89.83円	101.02円

(注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
(1) 1株当たり当期純利益金額	91.05	102.37円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,702	1,914
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,702	1,914
普通株式の期中平均株式数(株)	18,694,408	18,700,801
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	89.83円	101.03円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	255,185	249,702
(うち新株予約権)	(255,185)	(249,702)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

## (重要な後発事象)

該当事項ありません。